



地球社会の諸課題への挑戦

専門分野の枠を超えた叡智の結集

京都大学では、21世紀の最重要課題とも言われている地球環境問題について、これまで培ってきたフィールドワークの手法を駆使し、広範囲な調査・研究を進めています。

平成14(2002)年には、大学院地球環境学堂・学舎を設置し、既存の研究科と併せて、より高度な次元でエネルギー問題、食糧問題、生命・福祉に関する問題などに取り組んでいきます。

また、平成15(2003)年には新たな統合学問領域「森・里・海連環学」の創生と発展を目指して、フィールド科学教育研究センターを設置、さらに、平成16(2004)年には旧木質科学研究所と旧宙空電波科学研究所を統合・再編し、人類の生存に必要な領域と空間に関する研究を行う生存圏研究所が発足しました。

一方、多大な被害を及ぼす自然災害から大切な生命・財産を守るべく、関連する研究科と研究所などが連携して、国際的な共同研究を積極的に展開しています。



- ① 足場を組んでの樹木観察
(フィールド科学教育研究センター研究林)
- ② 水位変化の観測(同)
- ③ 半導体デバイス作製の実験(工学研究科)
- ④ 琵琶湖の水質調査(生態学研究センター)
- ⑤ 地震災害研究部門における構造物震害研究
(防災研究所)
- ⑥ 稲作の研究(農学研究科附属農場)
- ⑦ コショウランの培養実験(農学研究科附属農場)